

[専門教育科目/看護の展開/母性看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論 I	NSP22_007	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田中 深雪 他	409	m.tanaka	金曜日 16:20~17:50		
授業の目的・概要	母性看護援助論 I は女性のライフサイクル各期及び周産期の正常経過、健康逸脱時、特殊な状況にある対象への看護について講義する。周産期を含めた女性のライフサイクル各期における健康の維持増進、健康問題解決に対する援助に必要な基本的知識、技術を学ぶ。Teams を活用しフィードバックやグループワーク等を同時双方向に実施する。				
学習上の助言	予習・復習を実施し、疑問が生じた場合は講義毎のコメントペーパーやオフィスアワー等で質問してください。				
教科書	・統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①/著:森恵美 他/医学書院 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②/著:森恵美 他/医学書院 「2冊指定」				
参考書	・最新産科学 正常編/著:荒木勲/文光堂、最新産科学 異常編/著:荒木勲/文光堂 ・新生児学入門 第4版/著:仁志田博司/医学書				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における女性の健康とその看護について説明することができる			NS(2)(4)	
②	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の正常な経過とその看護について説明することができる			NS(2)(4)	
③	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の健康逸脱とその看護について説明することができる			NS(2)(4)	
④	産期の母子に対する看護過程を記述することができる			NS(2)(3)(4)	
⑤	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護に必要な技術を実施することができる			NS(2)(4)	
⑥	ポートフォリオを作成することができる			NS(2)(4)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション	同時双方向型授業	1		
2	女性のライフサイクルと健康について学ぶ。(思春期)	同時双方向型授業	1		
3	女性のライフサイクルと健康について学ぶ。(成熟期)	同時双方向型授業	1		
4	女性のライフサイクルと健康について学ぶ。(更年期、老年期)	同時双方向型授業	1		
5	正常妊娠経過について学ぶ	同時双方向型授業	1		
6	正常妊娠経過について学ぶ	同時双方向型授業	1		
7	妊娠期のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業	1		
8	妊娠期のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業	1		
9	正常分娩経過について学ぶ。	同時双方向型授業	1		
10	分娩期のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業	1		

[専門教育科目/看護の展開/母性看護学]

11	正常新生児について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
12	正常新生児のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
13	正常新生児のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
14	正常産褥経過について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
15	産褥期のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
16	産褥期のアセスメントと看護について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
17	中間試験(30分) 産褥期の看護過程について学ぶ(講義後課題実施)。	講義・演習	産褥期、新生児期の看護過程を復習する。	1	
18	産褥期の看護過程を展開する。【情報整理まで】	講義・演習	情報の整理を行う。	1	
19	産褥期の看護過程を展開する。【看護診断まで】	同時双方向型授業	情報の分析、看護診断を行う。	1	
20	新生児期の看護過程を展開する。【情報整理まで】	同時双方向型授業	情報整理を行う	1	
21	新生児期の看護過程を展開する。【看護診断まで】	同時双方向型授業	情報の分析、看護診断を行う。	1	
22	妊娠期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業	【予習】事前課題に取り組む。 【復習】教科書や資料を基に知識の整理を行う。事後課題に取り組む。	1	
23	妊娠期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
24	分娩期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
25	分娩期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
26	新生児期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
27	新生児期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
28	産褥期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
29	産褥期の異常について学ぶ。	同時双方向型授業		1	
30	まとめ 母性看護援助論 I の講義、演習内容を総括する。	同時双方向型授業		授業で学んだ知識を整理する	1
試	定期試験(60分)				

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		80	10	0	0	10	100	
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	0	0	65	
	思考・推論・創造する力	20	5	0	0	0	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法		
試験	①	✓	中間試験と定期試験を実施して評価する。評価割合は中間試験 20%、定期試験 60%で合計 80%とする。各試験ではテキスト、資料に基づく問題を出題し理解度を問う。				試験解説の時間を設ける。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①		演習時の課題の記載内容を全体の 10%で評価する。課題の詳細は講義内で説明する。				課題確認後返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	出席や講義、演習時の取り組み姿勢を全体の 10%で評価する。				口頭でフィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
<p>【担当教員：◎田中 深雪 小野寺 幸子】 【授業補助：加藤 理恵】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 17 回目に中間試験を実施する。 ■ 講義内容のフィードバックは毎講義コメントペーパーで実施する。 ■ 事前課題等は期日までに提出すること。 ■ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を順守すること。問題がある場合は授業の参加を認めません。 ■ Teams を使った同時双方向授業を行います（一部対面授業）。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。 ■ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。 								